

総務厚生常任委員会

町内事務調査を実施

7月7日、町内2か所の事務調査を実施しました。

○避難誘導灯設置工事

災害時における一時避難所への避難誘導灯を設置するもので、町道木入道～新地線において、国道448号線から一時避難所となる東千草集落等までの歩道に設置されたものです。施設整備費は、



避難誘導灯設置工事を調査

851万400円で、財源の内訳は、鹿児島県公共施設再生可能エネルギー等導入推進基金業費補助金で全額賄われています。



避難誘導灯設置工事を調査

避難誘導灯は、総延長800メートルにLEDライト20基が設置されており、内4箇所には避難所への案内板が設置されています。誘導灯には太陽光パネルが設置され、発電した電気をバッテリーに蓄電するシステムが使われており、バッテリーの耐用年数は、5年程度となっています。

また、避難所への案内板については、災害時において避難者が確実に確認できるように、設置されている高さや位置関係を検討するよう求めました。

○くいの松原キャンプ場管理運営業務

くいの松原キャンプ場の管理運営業務をアウトドアネットワーク(株)に年間270万円で委託しており、委託期間は、平成28年4月1日～平成33年3月31日となっています。



キャンプ場管理運営業務状況を調査

今回の調査では、まず以前実施した現地調査での指摘事項について改善されているかを確認したうえで、観光拠点である「くいの松原」には町内外から来場されるため、来場されている方々への適切な対応や管理運営のあり方について調査を行いました。



キャンプ場管理運営業務状況を調査